

CONCHO WALLET

コンチョ付きウォレット

初心者でも簡単に作ることができるレザークラフトキット。ここではその製作方法を詳しく紹介する。



各部を丁寧に処理して完成度を上げる

パーリーからリリースされている「大地の革」シリーズは、裁断されたパーツと金具がセットになっているため、工具さえ揃っていれば手軽にレザークラフトを楽しめるのが特徴だ。今回はオーソドックスで人気のある、コンチョ付きウォレットの製作方法を紹介する。キットの革には金具を付ける穴もあいているため、基本的にパーツを接着してヒシ目打ちを打ち、縫い合わせるだけで完成するが、ヘリや縫い終わりの処理を丁寧に行なうことで、より完成度と強度の高いウォレットに仕上げることができる。



ここでは、初心者にも最適な「大地の革」シリーズを使って、コンチョ付きウォレットの製作方法を紹介します。

MAKE LEATHER ITEM

実践アイテム製作

ここからは、プロの革職人によるアイテムの製作方法を見ていく。レザークラフトには、基本はあっても決まりはない。職人達もそれぞれの技法やこだわりを持って製作しているため、同系統のアイテムであっても作り方は異なるのだ。プロの技を参考にして、レベルアップに繋げよう。

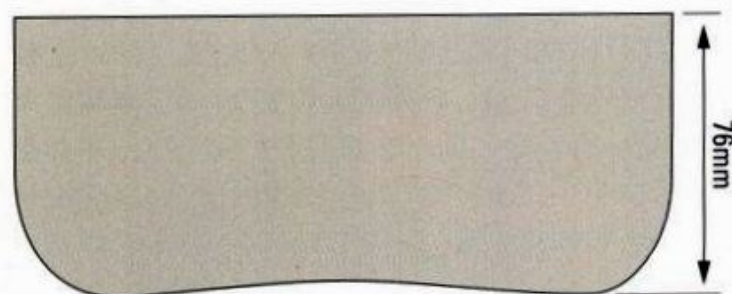
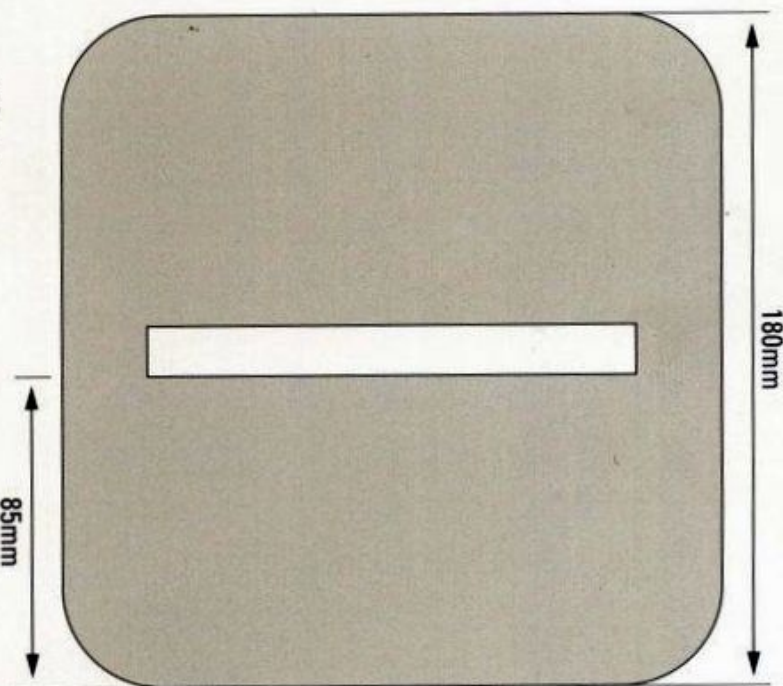
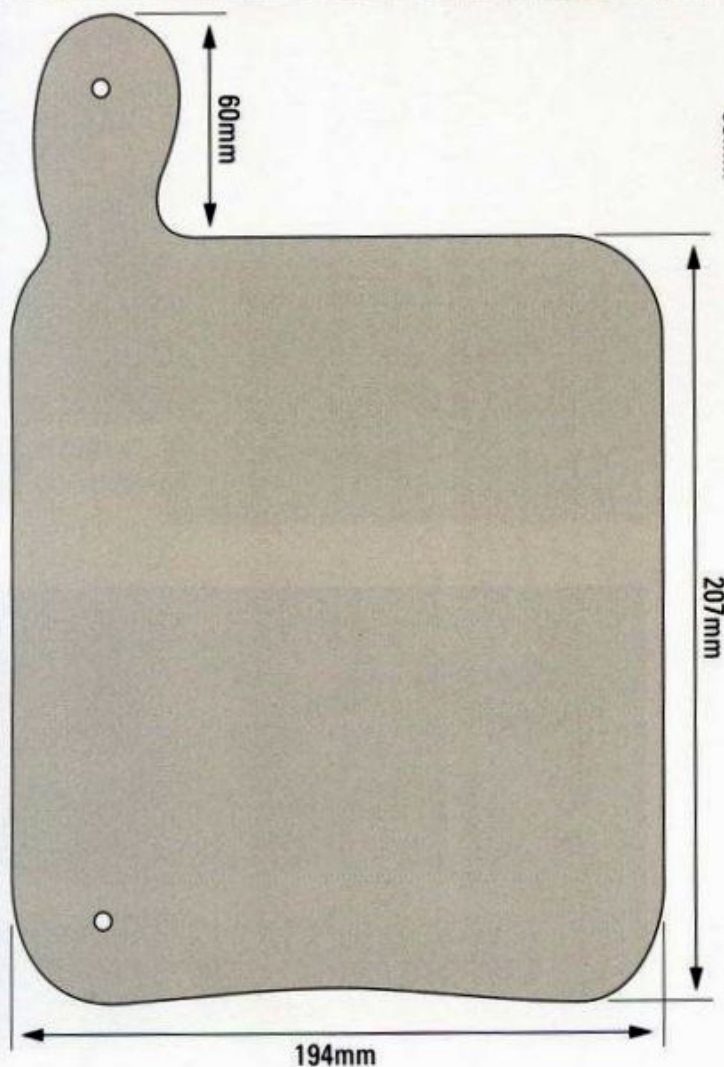
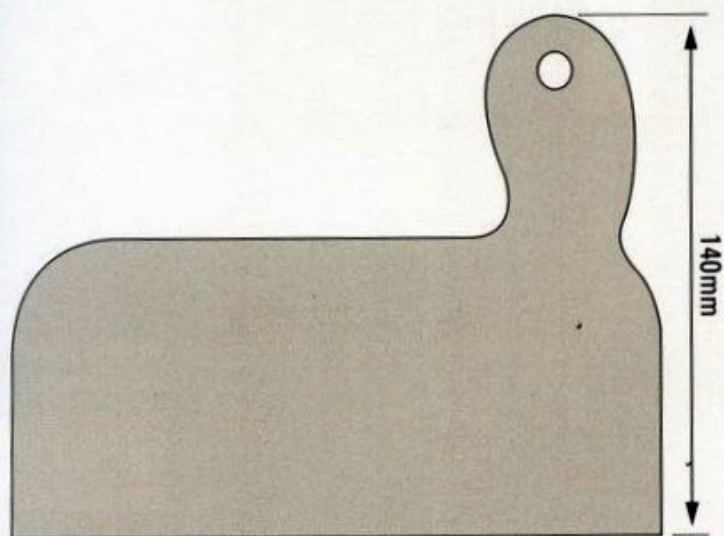


CAUTION 注意

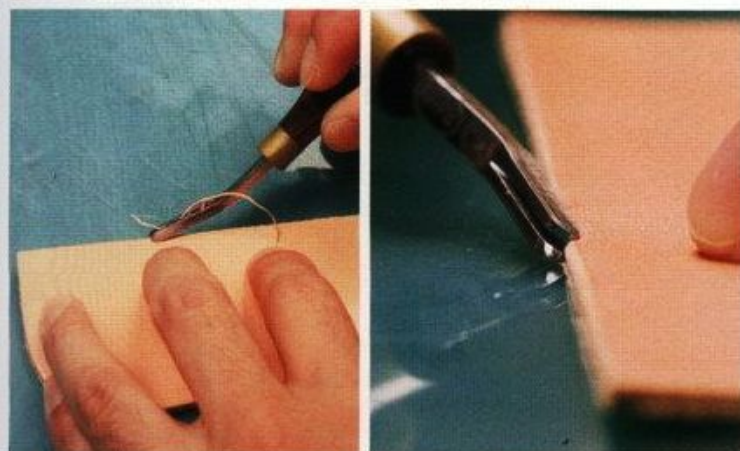
本書に記載されている内容は、プロフェッショナルによって行なわれた作業を記事として再構成したものです。作業の成功や作業を行なう上での安全性等はすべてその作業を行なう個人の技量や注意深さに委ねられるものです。よって、本書の内容に準じた作業であっても、出版する当社、株式会社スタジオ タック クリエイティブ、および取材先各社では作業の結果は一切保証いたしかねます。またその作業上、使用上において発生した事故や器物の破損、損壊についても、当社では一切の責を負いかねます。すべての作業におけるリスクは、作業を行なうご本人に負っていただくこととなりますので、充分にご注意ください。

製図

製図は実寸の約1/3サイズとなっている。製図の寸法を元に型紙を起こし、革を切り出して製作しよう。ただし、寸法はあくまでも目安であり、使用する革や革の状態によってサイズを調整する必要があるので注意。



各部の処理とファスナーの取り付け



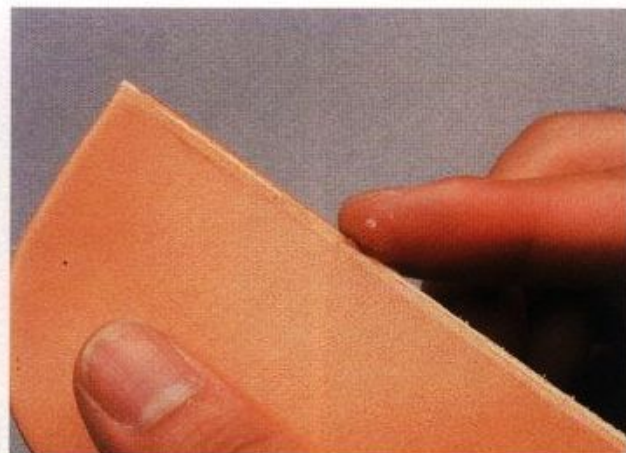
1 まずはヘリおとしで表側のヘリを落としていく。ヘリは表側と裏側の両側の角を落とす



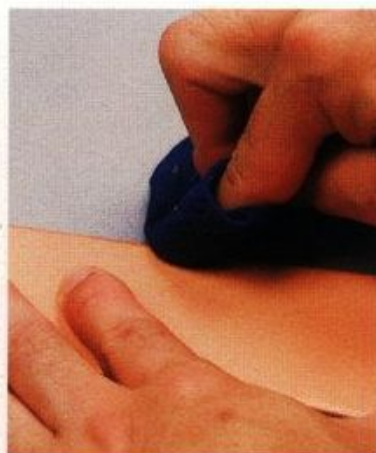
2 ヘリを落としたら、400番程度のペーパーを当てて側面を丸くする

この時点でヘリを落とし、ペーパーを当てる部分は、赤いラインが入っている部分のみ。それ以外は縫い合わせてからヘリの処理を行なう

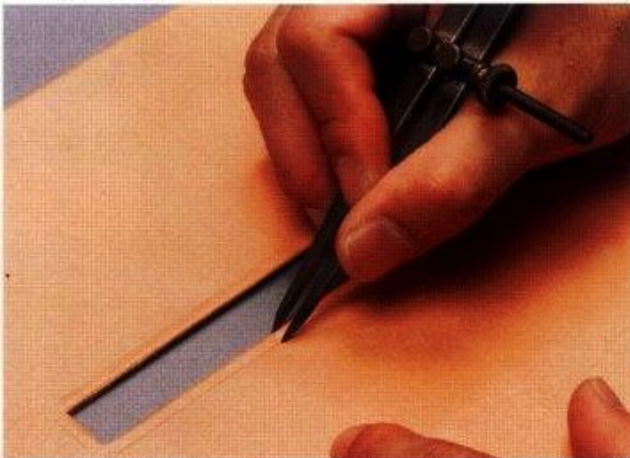
3



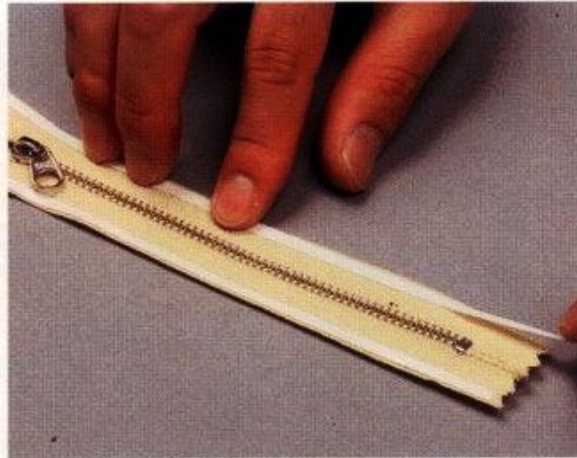
4 ヘリの処理をした部分に水で溶いたCMC(革用の糊)を塗る。銀面にはみ出さないように注意



5 CMCを塗った部分を乾いた布で擦る。力を入れて擦ることによって摩擦が発生し、ヘリに光沢が生まれる



6 ポケット1のファスナー部分に縫い線を付ける。
ディバイダーなどで3mm外側に線を引く



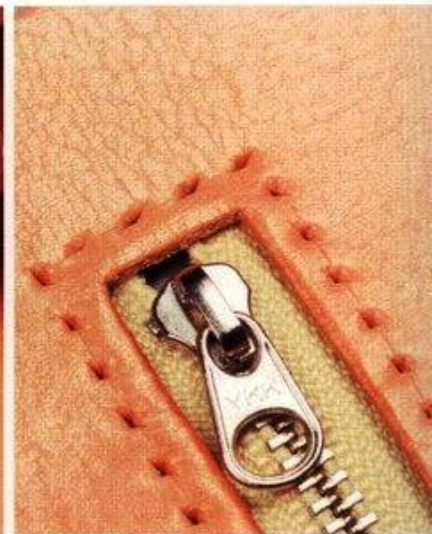
7 ファスナーに3mm幅の両面テープを貼る。ポケット1の裏側からファスナーを貼って固定する。ファスナーが曲がらないように気を付けること



縫い線に沿って、ヒシ目打ちで穴をあけていく。ファスナーの横部分は幅が狭いので、2本ヒシ目打ちを使って穴をあける



8



9 ファスナーの周りに穴をあけたら、針と糸を準備する。糸の長さは縫う長さの3.5~4倍程度

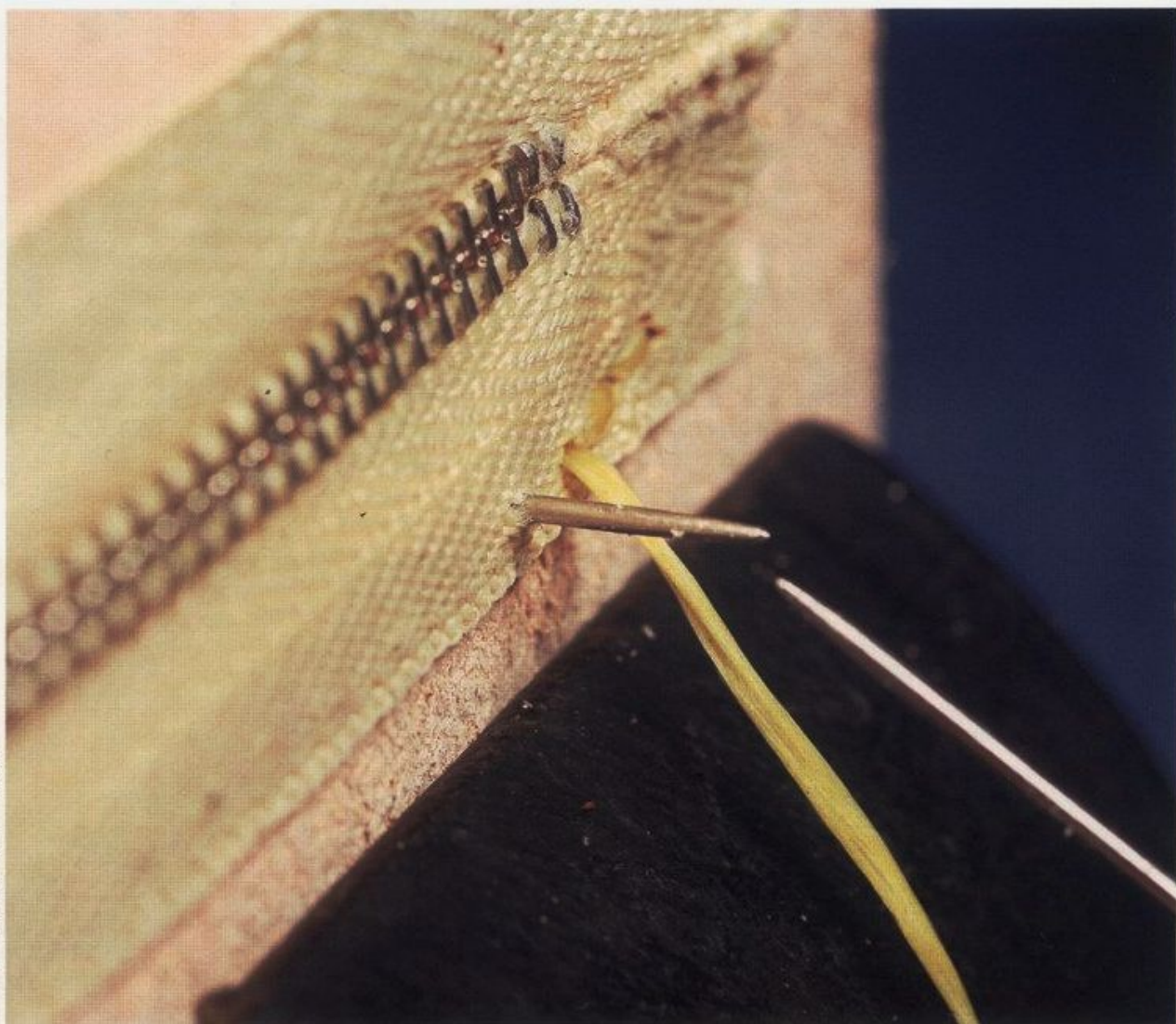


10 今回はシニュー糸を使用する。角から縫い始めていくと縫い終わりが目立たず、きれいに仕上げることができる



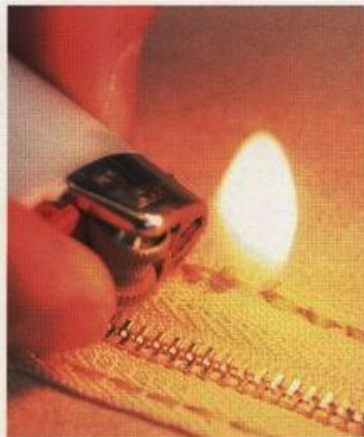
ファスナーが貼ってあると
ヒシ目打ちであけた穴が
わかりにくい。そのため、
内側から針を通す時は外
側から針を刺して穴の位
置を確認しながら縫って
いくと良い

11



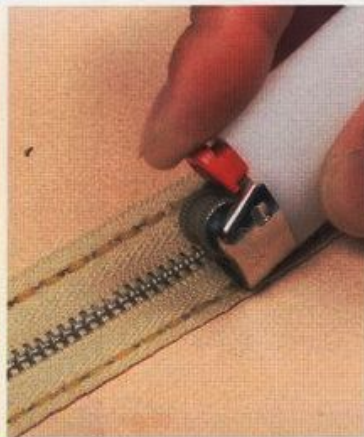
12

縫い終わりは2目分程縫い返して両方の糸が内側から出るようにする。糸は2mm程度残してカットする

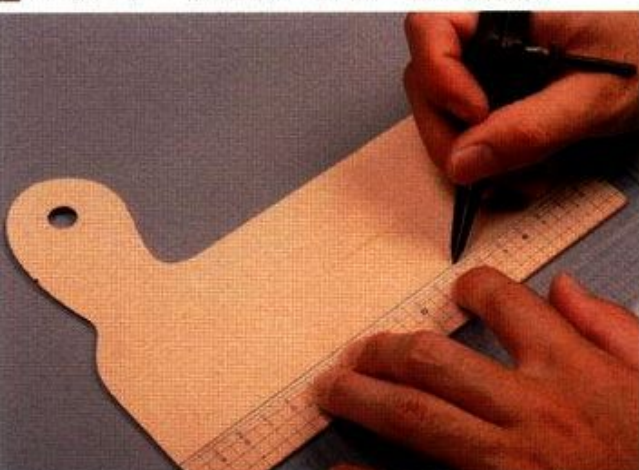


13

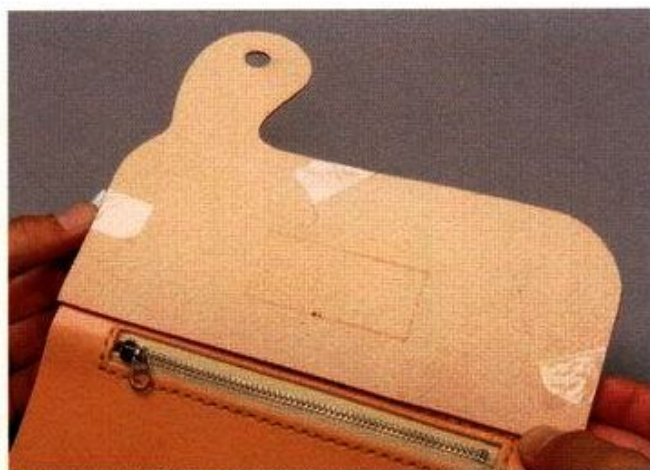
ライターで残った糸をあぶる。糸が溶けたらライターの側面で糸を押しつぶす。火が革に触れないように気をつけること



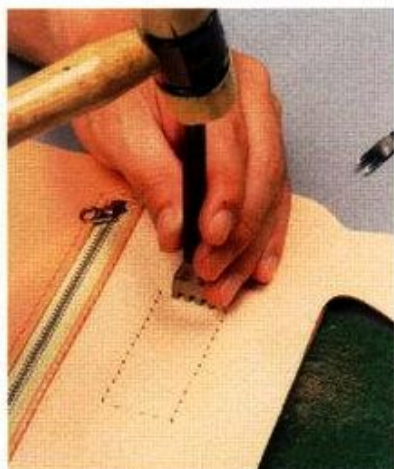
コインケースとカードケースの縫製



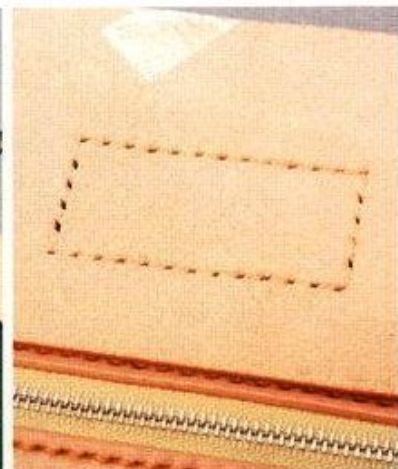
14 ポケット2の裏側中央に、適度な大きさの長方形をけがく



15 ポケット1とポケット2の角を合わせ、セロファンテープを貼って固定する



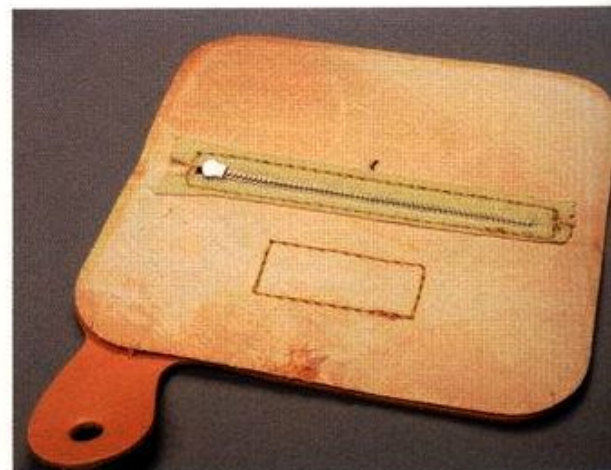
16 けがいた長方形にヒシ目打ちを打っていく。打つ時にパーツ同士がずれないように気を付けること



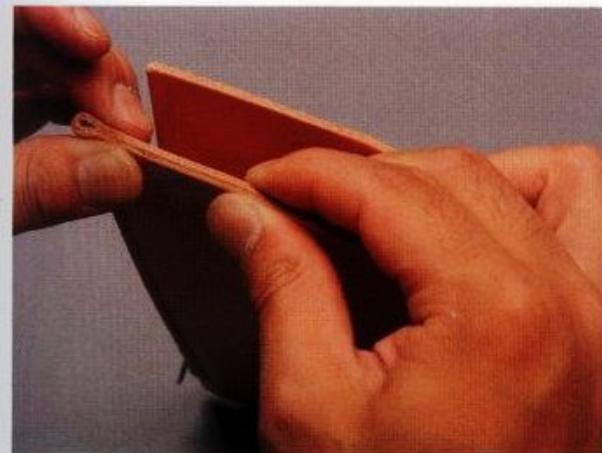
17 ヒシ目打ちを打ったら、角から縫っていく



18 ヘラを使ってポケット1にボンドを塗る。パリーイーではエルスーパーボンドを使用



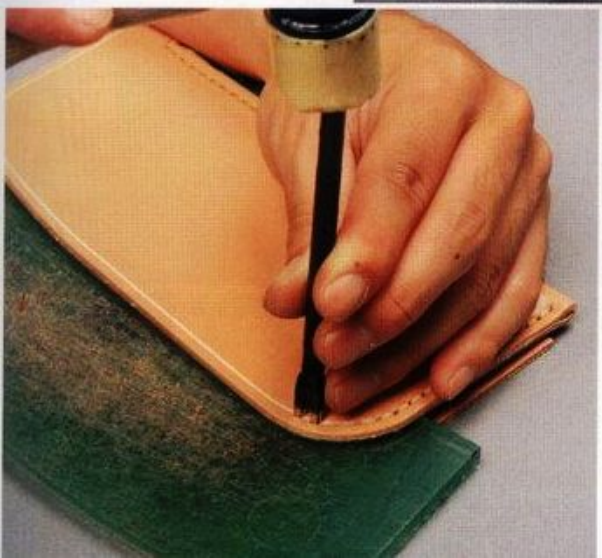
19 ボンドは5mmくらいの幅で1周塗る。貼り合わせた時にはみ出さないように薄く塗ること



20 ボンドが半乾きになったら、角を合わせてポケット1を貼り合わせる



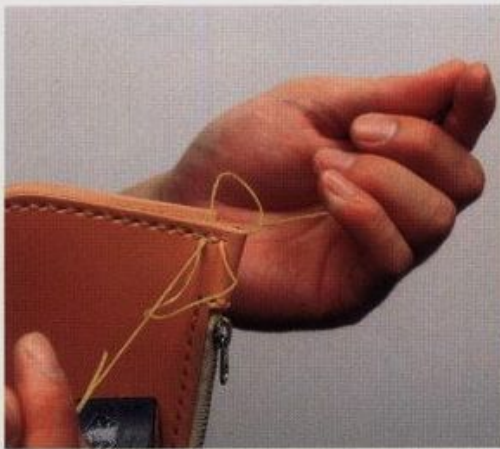
21 ステッチンググルーバーを3mm幅にセットし、ポケット1の外周に縫い線を付ける



22 縫い線は左右の上部を1cm程度あけて付ける。縫い線を付けたらヒシ目打ちで穴をあける。ギリギリまであけると、革が弱くなってしまうので気を付けること



23 ポケット1の外周部分を縫う。縫い始めは2重に縫ってから始める



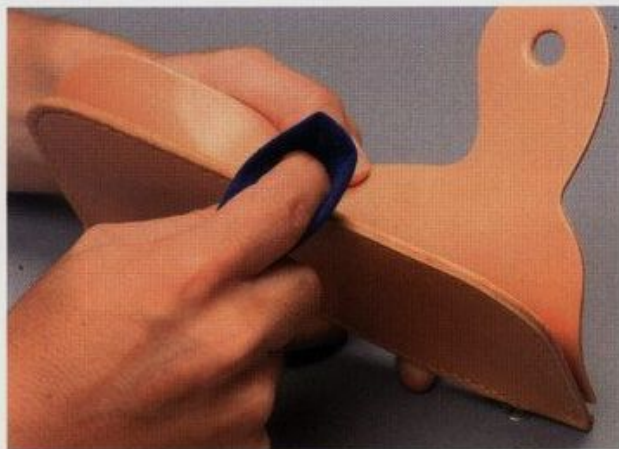
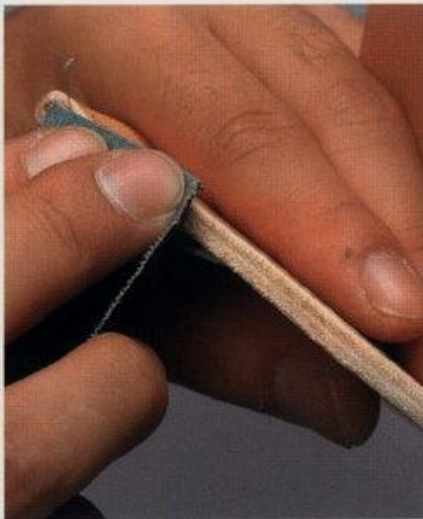
24 縫い終わりは2重に返してから1目分戻り、内側へ糸を出す。2mm程残して糸をカットしたら、ライターであぶって固着させる



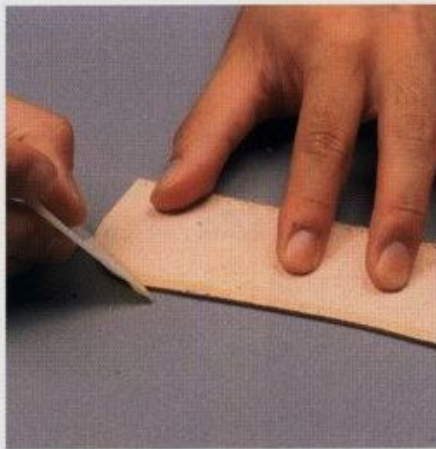
縫い合わせた側面の処理をする。ヘリ落としで内側と外側の角を落とし、400番程度のペーパーで丸く整えたらCMCを塗る



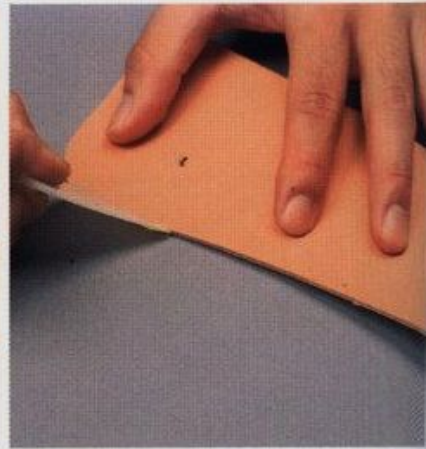
25

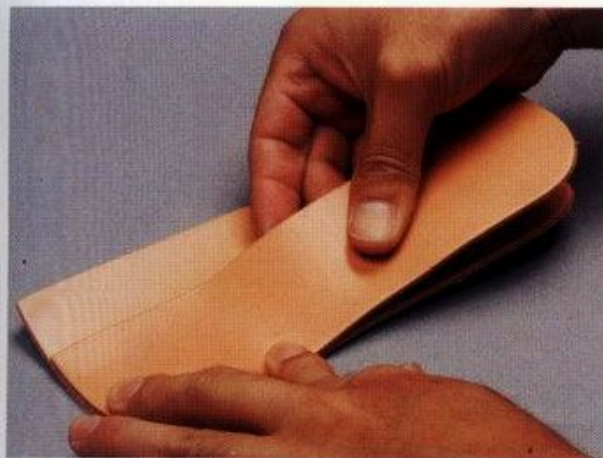


26 乾いた布で側面を擦り、摩擦で光沢を出す

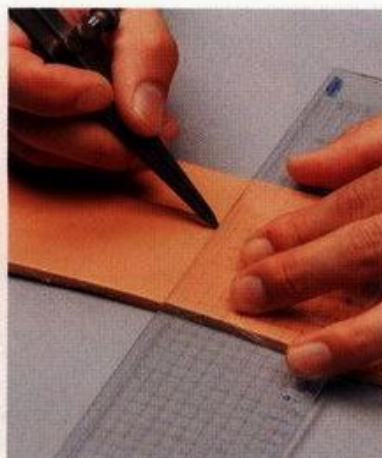


27 カード入れ1の裏側とカード入れ2の表側にボンドを塗る。カード入れ2ののりしろはカード入れ1の高さに合わせる





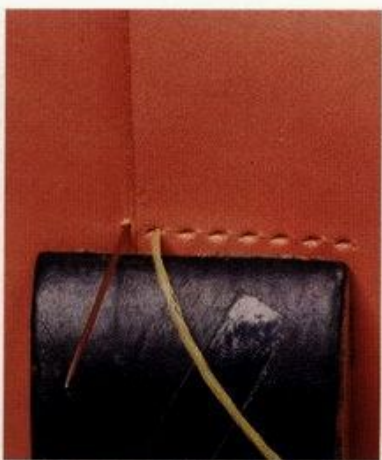
28 カード入れ1と2を貼り合わせる。始めに両端を貼って位置を合わせてから中央を貼る



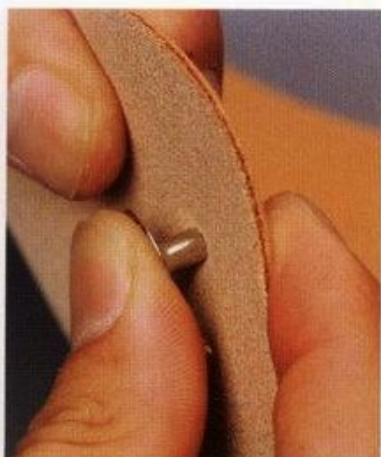
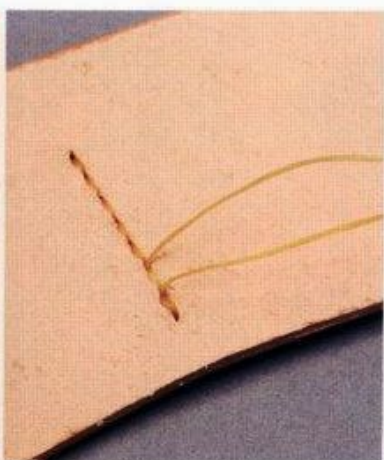
29 カード入りを貼り合わせたら、カード1に中央線を引く。下から1cm程度あけておくこと



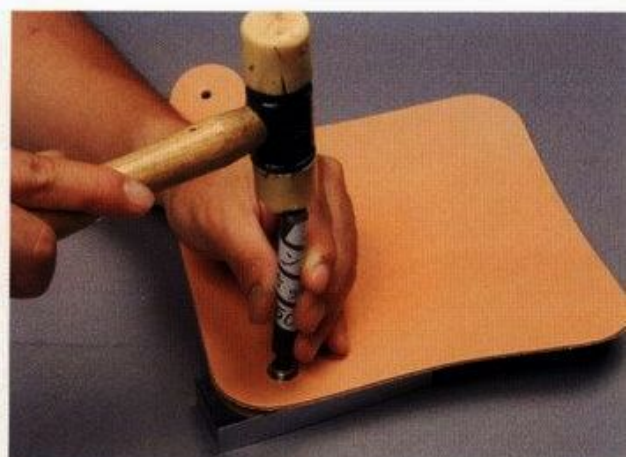
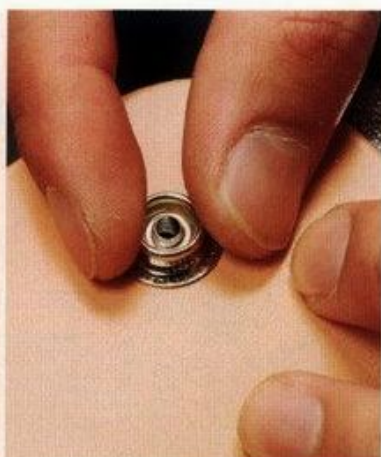
30 カード入れ1と2の段差を1目分跨ぐようにして、ヒシ目打ちを打っていく



31 カード入れ1と2を縫い合わせる。始めが2重になるように1目下から糸を通し、終わりも2重に縫って糸を処理する



32 ジャンバードットの脚を本体の裏側から差し込み、表側からジャンバードット(凸)をはめ込む



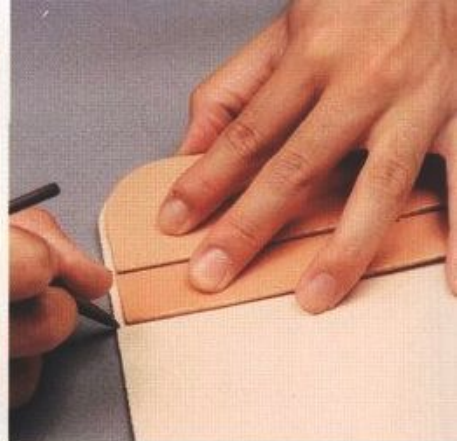
33 オールマイティプレートの上に乗せ、ジャンバードット打ちでジャンバードットを固定する



34 ステッチンググルーバーで本体に3mm幅の縫い線を付ける。曲線はゆっくり慎重に動かす



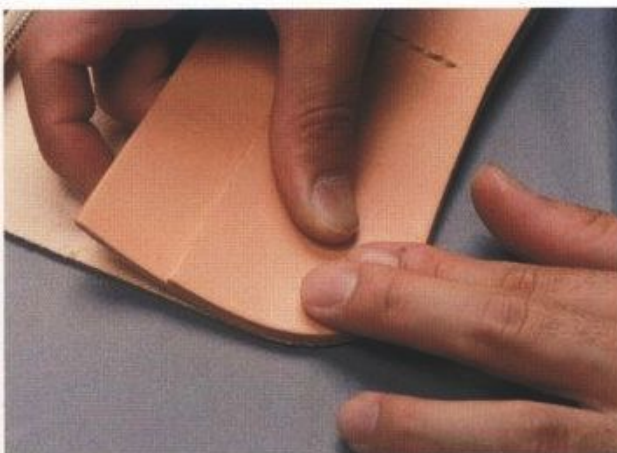
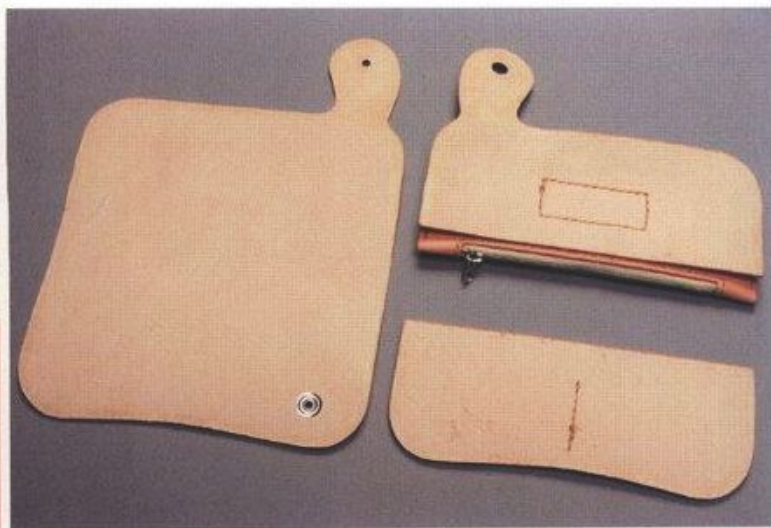
35 ポケットとカード入れを本体の取り付け部分に合わせ、のりしろの位置に印を付ける



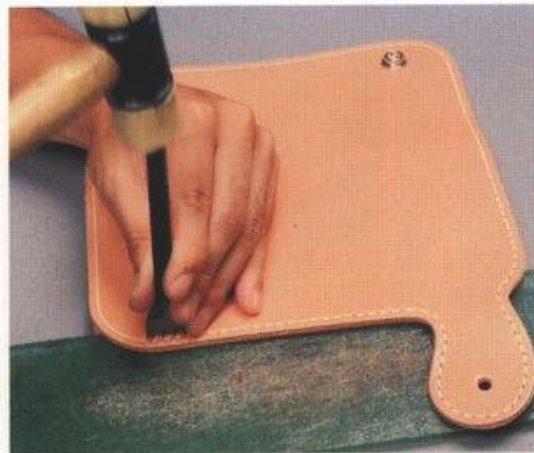
本体とポケット2、カード入れ2の裏側にボンドを塗る。本体とポケット2のベルト部分は全面に塗ること。外周部分ははみ出さないように薄く塗る



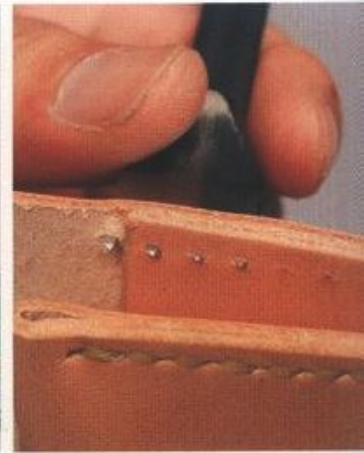
36



37 本体とカード入れ、ポケットを貼り合わせる。両端を貼り合わせて位置を決めてから中央を貼る

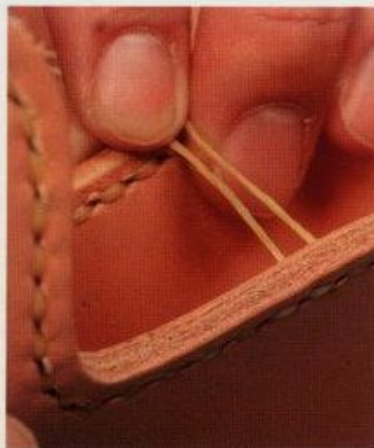


38 カード入れやポケットに穴があかないよう、間に板を挟んでヒシ目打ちを打っていく。段差部分はヒシ目打ちの間隔をうまく調節すること



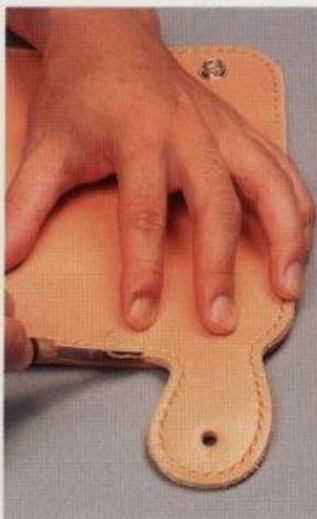


39 本体とポケット、カード入れを縫っていく。革を2枚、3枚重ねている部分は強めに縫うこと



40 縫い終わりはこれまでと同じように2重に縫い返し、ライターであぶって処理する

本体の外周部分のヘリを落とし、ペーパーをかけて丸くする。その後CMCを塗って布で磨き、光沢を出す



41



42 本体のベルト部分にコンチョを差し込み、裏側からジャンパードット(凹)を挟んでマイナスドライバーで固定する



43 ジャンパードットを付けて、ベルトで本体を固定したら完成